



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月5日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,954	△41.0	△1,970	—	△1,414	—	△1,463	—
2020年3月期第1四半期	8,393	△50.4	△872	—	△944	—	△689	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △2,328百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △1,872百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第1四半期	円 銭 △42.39	円 銭 —
2020年3月期第1四半期	円 銭 △19.41	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第1四半期	百万円 124,599	百万円 105,105	% 84.3
2020年3月期	百万円 130,695	百万円 107,950	% 82.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 105,068百万円 2020年3月期 107,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 35.00
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2021年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の期末配当金額は未定であります。

3. 2021年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想(2020年4月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,700	△43.3	△4,100	—	△3,100	—	△3,200	—	△92.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の連結業績予想については、現時点で合理的な算定が困難であるため、未定とさせていただきます。
 今後、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	35,800,000株	2020年3月期	35,800,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,288,003株	2020年3月期	1,288,926株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	34,511,089株	2020年3月期1Q	35,511,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済の動向は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、各国政府による外出禁止令や移動制限などの緊急対策により経済活動が停滞し、極めて厳しい状況となりました。米国では世界的な景気減速を背景に貿易は縮小し、雇用環境や個人消費は悪化しました。中国では経済活動が再開され緩やかな回復の兆しはあるものの外需の縮小や所得の下振れなど回復の持続性は不透明であります。欧州においても個人消費、製造業生産ともに落ち込み景気は減速傾向となり、わが国においても緊急事態宣言が発令され、個人消費や企業業績が悪化しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループが製品を供給するアパレル産業においては、足元では新型コロナウイルス感染拡大の影響で、外出自粛や不要不急の支出を抑制する動きなど、需要環境は厳しい状況にあり先行き不透明感が強まっています。さらに工場サイドでも環境負荷低減への取組みから、商品の過剰生産や在庫数量を抑制する動きが継続し、設備投資マインドは低調なまま推移しました。

当社グループはこうしたユーザー業界の課題解決に向けて、マスカスタマイゼーション、オンデマンド生産を可能にするホールガーメント横編機、3DデザインシステムSDS-ONE APEX4を核に、デジタル技術を駆使した新しい生産の仕組みなどのトータルソリューション提案に注力しましたが、売上高の回復には繋がりませんでした。この結果、横編機事業全体の売上高は32億86百万円（前年同期比44.4%減）となりました。デザインシステム関連事業においても販売は低調となり、売上高は4億3百万円（前年同期比43.3%減）となりました。手袋靴下編機事業は大手ユーザーの設備投資が順調となり、売上高は3億40百万円（前年同期比71.1%増）となり、その他事業の売上高は9億23百万円（前年同期比41.3%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間全体の売上高は49億54百万円（前年同期比41.0%減）と大幅な減少となりました。利益面におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う一時帰休を行うなど生産調整を行った結果、工場操業度が低下したことにより売上総利益率が悪化し、またコストダウンに努めましたが売上高の減少に伴って販管費率が上昇したことで営業損失19億70百万円（前年同期は営業損失8億72百万円）の計上となりました。また経常損失は14億14百万円（前年同期は経常損失9億44百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失14億63百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6億89百万円）といずれも大幅な損失となりました。

なお、前第1四半期より当社グループの連結決算においてSHIMA SEIKI U.S.A. INC.、SHIMA SEIKI EUROPE LTD. および SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U. の3社について、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したため、前年同期の経営成績には当該連結子会社の2019年1月1日から2019年6月30日までの6ヵ月間の業績が反映されております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などで前期末に比べ60億96百万円減少し、1,245億99百万円となりました。負債合計は買掛債務や短期借入金の減少などで前期末に比べ32億50百万円減少し、194億93百万円となりました。また自己資本の額は、1,050億68百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて1.7ポイント上昇し84.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の景気動向および2021年3月期第1四半期決算を踏まえ、未公表でありました2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想ならびに配当予想を以下の通りといたしました。

① 業績予想

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
今回発表予想	百万円 9,700	百万円 △4,100	百万円 △3,100	百万円 △3,200	円 銭 △92.72
前期実績 (2020年3月期第2四半期)	17,118	△2,710	△2,899	△2,061	△58.06
対前期増減率(%)	△43.3	—	—	—	—

(2) 2021年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
今回発表予想	百万円 6,000	百万円 △3,300	百万円 △2,500	百万円 △2,500	円 銭 △72.44
前期実績 (2020年3月期第2四半期)	12,743	△3,403	△3,632	△2,488	△70.09
対前期増減率(%)	△52.9	—	—	—	—

通期の業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが困難であることから未定とさせていただきます。また、2019年5月8日に公表しました「中期経営計画」の経営目標数値について、現在の事業環境や市場環境を見据え、未定とさせていただきます。今後、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

② 配当予想

2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)

	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
今回発表予想	円 銭 10.00	円 銭 未定	円 銭 未定
前期実績(2020年3月期)	20.00	15.00	35.00

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置付け、事業の持続的発展を通じて、安定した配当を長期にわたって継続することを基本方針としております。しかしながら、2021年3月期第2四半期においては上記の通り大幅な損失計上の見通しとなることから、2021年3月期第2四半期末配当予想を1株当たり10円とさせていただきます。なお、2021年3月期の期末配当については未定とさせていただきます。開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,641	17,932
受取手形及び売掛金	51,248	49,158
たな卸資産	18,410	19,000
その他	1,266	1,193
貸倒引当金	△3,097	△3,299
流動資産合計	89,470	83,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,833	6,636
土地	12,158	12,201
その他（純額）	7,972	7,689
有形固定資産合計	26,964	26,527
無形固定資産		
のれん	2,566	2,441
その他	365	341
無形固定資産合計	2,931	2,783
投資その他の資産		
投資有価証券	7,515	7,787
退職給付に係る資産	1,276	1,102
その他	4,504	4,244
貸倒引当金	△1,967	△1,832
投資その他の資産合計	11,328	11,302
固定資産合計	41,224	40,613
資産合計	130,695	124,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,112	1,134
電子記録債務	416	532
短期借入金	8,162	5,925
未払法人税等	118	65
賞与引当金	1,196	1,458
債務保証損失引当金	293	285
その他	4,993	4,128
流動負債合計	17,292	13,531
固定負債		
長期末払金	974	967
リース債務	2,932	2,729
退職給付に係る負債	730	1,521
その他	814	743
固定負債合計	5,452	5,962
負債合計	22,744	19,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,423	23,424
利益剰余金	81,415	79,434
自己株式	△3,937	△3,934
株主資本合計	115,761	113,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306	450
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△1,488	△1,651
退職給付に係る調整累計額	336	△510
その他の包括利益累計額合計	△7,849	△8,714
新株予約権	25	22
非支配株主持分	14	14
純資産合計	107,950	105,105
負債純資産合計	130,695	124,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,393	4,954
売上原価	4,930	3,518
売上総利益	3,463	1,435
販売費及び一般管理費	4,335	3,406
営業損失(△)	△872	△1,970
営業外収益		
受取利息	67	72
受取配当金	91	88
その他	143	455
営業外収益合計	303	615
営業外費用		
支払利息	28	17
為替差損	316	18
固定資産賃貸費用	21	20
その他	9	3
営業外費用合計	375	59
経常損失(△)	△944	△1,414
特別利益		
固定資産売却益	-	14
投資有価証券売却益	-	38
特別利益合計	-	53
税金等調整前四半期純損失(△)	△944	△1,360
法人税、住民税及び事業税	24	43
法人税等調整額	△278	58
法人税等合計	△254	102
四半期純損失(△)	△689	△1,463
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△689	△1,463

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△689	△1,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△276	144
為替換算調整勘定	△886	△162
退職給付に係る調整額	△20	△846
その他の包括利益合計	△1,182	△864
四半期包括利益	△1,872	△2,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,871	△2,327
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,908	712	199	6,819	1,573	8,393
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,908	712	199	6,819	1,573	8,393
セグメント利益又は 損失(△)	692	4	△9	688	55	743

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	688
「その他」の区分の利益	55
全社費用(注)	△1,615
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△872

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しており、当第1四半期連結累計期間は2019年1月1日から2019年6月30日までの6ヵ月間を連結しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,286	403	340	4,031	923	4,954
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,286	403	340	4,031	923	4,954
セグメント利益又は 損失(△)	△418	13	△63	△468	△36	△504

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△468
「その他」の区分の損失	△36
全社費用(注)	△1,465
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,970

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

【関連情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
1,563	1,724	204	4,657	243	8,393

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
1,175	866	152	2,572	188	4,954

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	1,710	△63.4%	1,337	△29.0%
デザインシステム関連	363	△59.8%	154	△64.2%
手袋靴下編機	795	121.7%	556	67.8%
合計	2,868	△51.7%	2,048	△22.6%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	3,286	△44.4%
デザインシステム関連	403	△43.3%
手袋靴下編機	340	71.1%
その他	923	△41.3%
合計	4,954	△41.0%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。